

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	入所1年以内の新規利用者様が多く、新たな家族様との信頼関係を築く必要がある。	家族様の意見や要望を気軽に受け入れる雰囲気を作り、互いに話し合える信頼関係を構築する。	家族様の訪問時には「お気づきのことはありませんか」と管理者や職員が話しかけ、家族様が気軽に意見を言える雰囲気作りに努める。出された意見や要望は職員間で共有し、ケアの改善に繋げる。	12ヶ月
2	36	「ハッピーなグループホーム日本一」の目標に向けて、尊厳を損なう言葉遣いや余計な否定語を使わないよう努めているが、時々出てしまっている。	「ハッピーなグループホーム日本一」を常に意識し、サービス業であることに徹する。	①利用者様が幸せを感じられるような言葉を使う。②親しみをこめつつも、対等な口の利き方は避ける。上記を職員会議で指導し、相互指摘を続ける。	12ヶ月
3	6	理由はどうあれ、行動を抑制する衣類を着用している。	行動を抑制する衣類を漫然と使用しない。また、改善策を考える。	サービス計画に衣類の着用について明記し、モニタリングで必要性の有無を確認する。また、他の手段が無いのか、家族様等にも意見を募り、職員みんなで検討を続ける。	12ヶ月
4	4	運営推進会議に家族様の参加がない。	新しい家族様や、成年後見人に声をかけ、出席をしてもらう。	まずは外部評価結果と目標達成計画を家族様に配布し、運営推進会議の存在を知っていただく。成年後見人にも運営推進会議の案内を送付し、参加を呼びかける。	12ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。